

令和2年度 「ひびきあい集会」の校長の話

2年前の10月25日に、「南小あったか宣言」が誕生しました。だから毎年、10月25日は「南小あったか宣言」誕生日です。今年は、10月25日が日曜日なので、「南小あったか宣言」誕生日をお祝いするための「ひびきあい集会」は、今日やることになりました。

さて、「南小あったか宣言」に関して、校長先生にはうれしく思えることがいっぱいあります。そのうちの2つを今日は話したいと思います。

まず1つ目は、皆さんの毎日の生活の中に、「南小あったか宣言」が定着してきたということです。なぜ校長先生がそう思うかというと、「うれしい気持ち」とか「いやな気持ち」とか「南小あったか宣言」という言葉を学校の中でよく耳にするようになったからです。

例えば、10月14日のお昼の放送で、企画委員会の子が、こんな輝きみつけを紹介してくれました。

今日の掃除のときに、Tさんは、「もう掃除するよ！」とみんなに声をかけていたので、すごかったです。きっと、掃除に遅れたら、みんながいやな気持ちになるから、声をかけたんだと思います。

そして、10月16日には、生活委員会の子が、こんな放送をしていました。

いつも大きな声であいさつするNさんに、なぜ、大きな声であいさつをするのかと質問しました。するとNさんは、みんなにうれしくなってほしいから、大きな声であいさつをしていると言っていました。あいさつすると、自分も相手も心がすっきりするし、相手を思いやるということでは、「南小あったか宣言」にもつな

がりますね。

企画委員の皆さんの話しの中には、「掃除に遅れたらみんながいやな気持ちになるから」、生活委員の皆さんの話の中には、「みんなにうれしくなってほしいから」「南小あったか宣言にもつながるから」という言葉が入っています。

「うれしい気持ち」とか「いやな気持ち」とか「南小あったか宣言」という言葉が普段の生活の中にたくさん出てくるというのは、それだけ、皆さんが、「南小あったか宣言」を知らないうちに意識している証拠だと校長先生は思っています。これからも、「うれしい気持ち」「いやな気持ち」「南小あったか宣言」を毎日の生活の中に溢れさせてほしいなと思います。

2つ目は、「南小あったか宣言」にある「人がうれしい気持ちになることをする、いやな気持ちになることはしない」ということにつなげて、いろいろなことを考えられるようになってきたということです。

例えば、今日の学級宣言の発表の中で、ふたば4組さんは、

「全員が、“ね”と“よ”を付けて、優しく呼びかけをする」が学級宣言です。呼びかけをするときに、あまりきつい言葉だと、呼びかけられた子がうれしい気持ちにはならないからです。

と言っていました。「南小あったか宣言」と優しく呼びかけることは、一見すると、何の関係もないように思えますが、きつい言葉で呼びかけると、呼びかけられた子は確かにいやな気持ちになるなあ…と思いました。

また、2年2組さんは、

「3秒以内に反応する」が学級宣言です。すぐに反応すると、仲間がうれしい気持ちになり、「声をかけてよかった」と安心します。

~~~~~  
と言っていました。「南小あったか宣言」と3秒以内に反応することは、ぱっと見、特につながりはないように思えますが、呼びかけられてすぐに反応すると、言ったことを相手に気持ちよく受け入れてもらえたと思って、確かにうれしい気持ちになるなあ…と思いました。

こんなふうに、自分がやろうとしているひとつひとつの行動が、「人をうれしい気持ちにさせることなのか、それとも、人をいやな気持ちにさせることなのか」をよく考えることで、南小は、本当に安心して、楽しく生活できる学校になると思います。